



日本マイクロソフトが2年ぶり首位 ソニー、アップルがトップ3に浮上 企業ブランド調査「ブランド戦略サーベイ 2017」発売

2017年9月20日
株式会社日経リサーチ

株式会社日経リサーチ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:三宅誠一)は20日、主要企業590社のブランド力を測定・分析する「ブランド戦略サーベイ」の2017年版レポートを発売しました。ブランド力の総合ランキングは昨年6位まで順位を下げた日本マイクロソフトが2年ぶりに首位を奪還しました。2位はソニー、3位はアップルジャパンとグーグルが同スコアでランクイン。昨年初の首位を獲得したヤマト運輸は5位に後退しました。

「ブランド戦略サーベイ」は企業のブランド力をコンシューマー(消費者)とビジネスパーソンという2つの視点から評価する年1回のインターネット調査です。2003年にスタートし、今年で15回目になります。今回は2017年6月~7月に実施しました。

ブランド力は「愛着度(ビジネスパーソンは企業魅力度)」、「自分必要度(ビジネスパーソンはビジネス有用度)」、「プレミアム(ブランドプレミアム・価格プレミアム)」、「独自性」、「推奨意向」という5つの評価項目に基づいて算出した「企業ブランド知覚指数(PQ=Perception Quotient)」によって評価しています。

総合ランキングは消費者とビジネスパーソン両方の「企業ブランドPQ」のスコアを統合し、算出した「総合PQ」によるもので、ランキングは9月20日付の日本経済新聞14面、日経産業新聞21面、日経MJ(流通新聞)11面でも紹介されています。

■「ブランド戦略サーベイ 2017」ランキングのハイライト

●昨年6位まで順位を下げた日本マイクロソフトが2年ぶりに首位を奪還

ビジネスパーソンの評価は4年連続1位。消費者は評価5項目すべてでランクが上昇。

●2位はソニーが昨年の4位から浮上。3年連続で総合順位がアップ

ビジネスパーソンの評価も3年連続上昇でトップ3入り。「企業魅力度」は1位。

●3位は2位からダウンしたグーグルと7位から上昇したアップルジャパンが並ぶ

アップルは消費者、ビジネスパーソンとも順位がアップ。ビジネスパーソンの「独自性」はアップル1位、グーグル2位。

●昨年初の首位に輝いたヤマト運輸は5位に後退。消費者評価も1位から4位にダウン

ビジネスパーソンの順位も3位から5位に。消費者では1位だった「推奨意向」が9位。

●ヤフーが昨年11位から9位に上昇。トップ10入りは5位に入った2011年以来

スコアの上昇幅は1ポイント。ビジネスパーソンの「ブランドプレミアム」上昇などが寄与。

- 過去 10 年間の企業ブランド力は消費者がキューピー、ビジネスパーソンがマイクロソフトともに 10 回中 8 回も首位を獲得。ビジネスパーソンではアップルが首位を脅かす存在に。

▼詳しくはこちらをご覧ください。

https://www.nikkei-r.co.jp/service/branding/co-brand/?utm_source=prap&utm_medium=release&utm_campaign=brand

■「ブランド戦略サーベイ」の特長は

- ブランドの総合力、浸透レベル、企業活動の成果をそれぞれ測定、相互の関係性を把握することで、「ブランド価値」の構造を「見える化」します。
- 競合企業とのブランド力比較で、自社の総合的なブランドポジションが把握できます。
- 時系列データを追うことで、ブランドが浸透していく状況や価値の変遷が確認できます。
- 多彩な評価項目を様々な切り口で分析し、自社ブランドをどんな層が受容しているか分かります。
- ご自分の PC で自由に表やグラフを出力できる分析用ツールをご提供します(一部商品)
- ベイジアンネットワーク、バリューチェーンマップなど多彩な分析アプローチをご用意しています(一部商品)。

■ラインナップ:用途や分析レベルにより 5 種類をご用意しました。ニーズに応じてお選びください。

■価格:100,000 円(本体価格)より

企業のブランド価値の構造と、過去から現在までの変遷を「見える化」し、ブランド戦略をサポートする「ブランド戦略サーベイ 2017」をぜひご活用ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 **日経リサーチ**

営業本部営業企画部 担当:岡村、高見

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-2-1

TEL:0120-980-181 (9:00~17:30 ※土日祝を除く)

FAX:03-5296-5110

弊社 HP お問い合わせフォーム

https://www.nikkei-r.co.jp/contact_cobrand/